

「リノベーションまちづくりアクションミーティング」

日時：2017年（平成29年）9月25日 18:00～21:00

場所：ふくやま美術館前の広場（福山城公園内）

参加者：131人（登壇者9名を含む）

多数のご参加ありがとうございました！



BtoBのショールーム

登壇者や参加者との ディスカッション



藤田 直史さん

インテリアショップの経営をしている。駅前で何かするのなら、家具のショールームをやりたい。

上手く空間資源と繋げればすごいものが出来ると思う。

福山はOEMのまち。ものづくりの技術は持っているのに付加価値がつけられておらずもったいない。市外から製造業の技術力を目当てに来る人達は多い。そうした人をターゲットにしたショールームが駅前にあると良いと思う。



嶋田 洋平さん

出張で来たビジネスマンが寄れる店をやりたい。

せっかくだから、市外から来た人達には一泊して帰ってもらいたい。

夜の楽しみ方はまちづくりにとって大事だと思う。食のコンテンツがよければ3度財布を開く。いかに財布を開かせるかという作戦を立てる必要がある。



岡崎 正信さん

頑張りすぎてしまう人達のために、少しでも自堕落になれる場所を作りたい。飲んで帰れなくなったら泊まって帰れるような場所が良い。



藤田 直史さん



延岡 英憲さん

神石高原町の道の駅で働いている。伏見町をなんとかしたいという思いがある。伏見町で軒先カフェをした。道路を使ったイベントは規制があるため、ハードルが高い。

個人では申請が通りにくいので、団体になった方が良いと思う。

公園の利活用



菊池 永史さん

公共空間を使って何かできないかと考えている。市役所の南側の公園を使ってドッグランを開催している。近所でドッグランをしたいという女性の思いが原動力となっている。公共空間には使いにくさを感じている。

デンマークだと、ネットで申込をして広場を使える気軽さがある。日本の公園も気軽に使えるようになるとう良い。美術館前の広場にも、犬の散歩をしている方々がいるので、ドッグランの需要はありそう。



嶋田 洋平さん

まちが発信する情報



一般参加者

「ストアハウス」というまちづくりプロジェクトを運営管理しながら、フリーペーパーを作成している。まちで頑張っている人のことをもっと知ってもらいたい。情報を受ける側が、身近に感じられるものを発信したい。



崎新谷 謙さん

エリアからの情報がいかに発信されるかは、まちづくりにとって大事な事だと考えている。

面白いクオリティの高い情報が発信されているかどうかで、まちの魅力がほぼ決まる。来客数もほぼ比例関係にある。



嶋田 洋平さん



清水 義次さん



桑田 恭子さん

色々な音楽との繋がり

伏見町でジャズバーを営んでいる。伏見町は駅から近く、車に乗らなくても帰ることができるのでお酒が飲める。また新幹線の駅付近であることから著名なミュージシャンが立ち寄ってくれるので、実は質の高い音楽が聴ける。伏見町に駅から近い地の利を活かしたお店が沢山できればいいと思う。DJとかロックとか色々な音楽と繋がれば面白いと思う。

ミュージカルチャーは、福山のコンテンツになると思う。



嶋田 洋平さん

伏見町でDJパーティーをやったら楽しいと思う。

学生が集まれる場所

福山大学に通っている。DJをしていて、イベントを開催している。福山には学生が沢山いる。大学生が集まれる場所を駅前周辺に作りたい。路上パフォーマンスのように自分を売れる場所が増えて欲しい。そういう心を持っている人が福山を盛り上げて欲しい。



小出 倫大さん

登壇者や参加者との ディスカッション

飲食業と福山城の繋がり



高橋 英樹さん

飲食店を経営している。福山の名所と名物を発信できれば良いと考えている。まちの中で福山城との関連性をもたせながらやっていきたい。

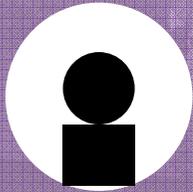
福山は食材も良いし、飲食業の可能性に満ちている。

駅と城がこんなに近いまちは他にはない。一番の観光資源になる。



清水 義次さん

福山の良さを知ってもらう拠点



一般参加者

ゲストハウスで出会う人に福山を知ってもらい、福山の良さを知ってもらう拠点を作りたい。

福山の価値はどこどころ？

福山の人は、福山のまちに誇りを持っている。そういう人が繋がれば良いまちになると思う。

ゲストハウスの経営

三之丸町でカフェを営んでいる。年内には、ゲストハウスのオープンも予定している。市内のゲストハウスの経営の先駆けになれたのではないかとと思っている。



梶原 亜紀さん

英会話教室をしている。英会話に来る大人は出会いや交流を求めている人が多い。外国人や市外の人に教師してもらい、外からの目を入れることで、まちが変わるきっかけになるのではないかと考えている。

英会話は外国人と交流するためのツールになると思う。



嶋田 洋平さん

民泊をするような人達はビジネスホテルには泊まらない人達。海外の人達は新幹線を使う。福山駅に新幹線が止まる事は最高のポテンシャルだと思う。

福山は海も山も近い、リゾート地のような場所。マリンスポーツもできて、魅力的なところが沢山ある。民泊で外からの受け入れができるまちになればいいと思う。

外国人や市外の人との交流

民泊で市外からの受け入れができるまち

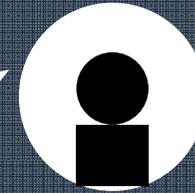
デニムの産地



嶋田 洋平さん

アパレル店を営んでいる。デニムの産地なのに、福山には魅力的な福山ブランドの製品が少ない。

デニムの産地に福山ブランドのデニムが売っていないのは残念。デニムの産地として良いものを作って売れば売れると思う。



一般参加者

色々な人達が繋がる場所

2ヶ月前に東京から福山に移住した。福山は可能性に満ち溢れている。人との出会いを福山の資産にしたい。作ると食べる一緒にしたキッチンを作りたい。まずはピクニックを企画して、そういう人達が集まれる場所を作りたい。夜ピクニックも面白いと思う。



一般参加者



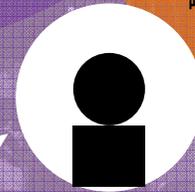
古賀 大輔さん

団体になった方が良い。一緒にやりたい人は、繋がって欲しい。



嶋田 洋平さん

今回のような意見を行政が受け止める窓口を作れないか。何かやりたいという、今回の出席者達が繋がるプラットフォームがあると良い。



一般参加者